

石川酒造株式会社

東京都福生市

需要獲得

サービス

日本の伝統産業である酒造りを守り継ぎ、「酒飲みのテーマパーク」で地域の賑わい創出にも貢献

幕末1863年の創業以来、日本の伝統産業である酒造りを今日まで守り継いでいる。企業理念「石川酒造は地域の誇りであり、自らの誇りである」にも現れているように、同社の歴史は地域とともに歩んできており、代表者も地域経済の中核的役割を担っている。敷地内には国の登録有形文化財指定の建築物に加え、レストランと直売店、史料館を整備。酒造りや地域の歴史を学びながらでき立ての日本酒やビールを食事と一緒に楽しみ、土産品も購入できる「酒飲みのテーマパーク」として地域全体の賑わい創出にも貢献している。

所在地 東京都福生市熊川1番地
電話/FAX 042-553-0100/042-553-2017
URL <https://www.tamajiman.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 石川 彌八郎

設立 1863年
資本金 5,000万円
従業員数 43人



「体験価値」の提供による観光蔵としての酒蔵ツーリズムの推進

同社は「製造業」から自社の製品・サービス・歴史等を核とした「サービス業（観光蔵）」へと事業領域を広げている。杜氏が開く特別な見学コースや日本酒セミナーなどの新たなプログラム開発や東京の酒蔵という立地面での優位性と海外における日本酒人気を追い風に、酒造りの歴史と文化を前面に出し、レストランでの食事や酒蔵での体験そのものを商品化した体験型ツアー（酒蔵ツーリズム）の提供を通じて国内外のさらなる需要獲得を推進している。そのために英語を併記したガイドブックの作成や酒蔵見学ツアーの英語対応に向けて語学が堪能な社員を新たに雇用した。



酒蔵ツーリズムの案内

地域ブランドの酒とハムの提携によりさらなる発展へ向けて展開中

同社のビジネスモデルである「酒飲みのテーマパーク（直売店・レストランの併設、工場見学の実施）」と多くの共通点を持つ同じ福生市の大多摩ハム小林商会と2020年1月に企業提携した。日本酒・ビールとハムは相互に補完する関係であり、同じ「東京・福生」のブランド同士の提携によって、オリジナル商品の開発や互いの販売・流通網の活用等によるシナジー効果の発揮に取り組んでいる。今後、同じ福生市内の他の酒造場とも連携を図り地元商店の活性化にも貢献し地域住民の愛着醸成も取組中である。



酒飲みのテーマパークのレストラン

受け身での海外市場から攻めの海外展開へ

同社は、米国や香港、台湾、シンガポールに対して商社経由での輸出実績はあったものの、継続的な取引には至っていなかったが、今後の海外展開の方向性を明確にするため、中小企業基盤整備機構の専門家と同社のSWOT分析や市場調査等を行ったうえ、経済成長を続けるベトナムへ進出することに決めた。ベトナム市場向けの商品開発、販売代理店の選定やバイヤーとの商談を進めており、今後同国市場での経験を踏まえ、競合製品と差別化できる各国市場向け新商品の開発を行いながら、さらなる海外販路の拡大に取り組んでいく。



ベトナム向け製品

需要獲得

サービス